

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
専門教育科目	ホテル概論 [Outline of Hotel]		2			
授業形態	担当教員名			ナンバリング		
講義・演習・ アクティブ・ラーニング	植松 大介		国	M-S2121		
この授業に関する資格						
ホテルビジネス実務検定						
学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連						
○	豊かな人間性（広い視野、深い思考力）			健康づくりの実践的指導能力		
	食、栄養科学の専門的知識	○		健康生活の知識と技術の修得		
	健康管理の指導技術の修得	○		実社会に役立つ能力		
	運動、スポーツ科学の専門的知識	○		社会に貢献できる実践力		
授業の目的と概要						
ホテル領域に関する基礎的知識を理解することを目標とする。						
学習の到達目標						
国際語として英語の役割を理解し、基本的な接客英語の表現やフレーズを修得する。 またそれらを駆使し、ホテル現場や日常生活の中で、英語でロールプレイングや実売プレゼンテーション、実務実演ができることを目標とする。						
回	授業内容	キーワード			AL	
1	オリエンテーション	講義の進め方、評価の仕方、その他受講上の注意			○	
2	世界と日本の観光・旅行産業の現状	観光と旅行産業			○	
3	観光白書を読み、業界を紐解く	日本の観光業の現状分析			○	
4	世界と日本のホテルの歴史	ホテル史			○	
5	都市部のホテルの運営形態	シティホテル			○	
6	都市近郊のホテルの運営形態	リゾートホテル			○	
7	都市型リゾートホテル及び旅館の運営形態	アーバンリゾート・旅館			○	
8	日系ホテルの老舗と新興	御三家・新御三家			○	
9	日系ホテルグループ その特徴と運営形態	フランチャイズ、経営委託			○	
10	外資系（欧米・アジア）ホテルの老舗と新興	メガホテルチェーン、アマンリゾート、			○	
11	外資系ホテルグループ その特徴と運営形態	ブランド、経営形態			○	
12	帝国ホテルとリッツカールトン	ラグジュアリー、クレド、ヒルトンウェイ			○	
13	西武と東急	鉄道、日本の観光事業			○	
14	ヒルトンとマリオット	プレミアム、リミテッドサービス			○	
15	ディズニーホテル	ディズニー、ミリアルリゾート、オリエンタルランド			○	
教科書及び参考図書						
参考図書：「宿泊産業論」創成社 国土交通省「観光白書」ホテルビジネス（ベーシックレベルテキスト：基礎編）（財）ホテル教育センター 授業中、必要に応じて適宜指示及び資料プリントを配布する。						
準備学習・事後学習						
準備学習（週 1.5 時間）：業界に関する事項に対して業界誌やインターネット・書籍を通して情報の収集をしておくこと。 事後学習（週 1.5 時間）：講義内容を復習し、分からないところは調べて理解しておくこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法						
フィードバックとして各講義後にディスカッションを行い、解説を行う。						
成績評価の方法・基準						
リサーチレポートとプレゼンテーション(65%)、リアクションレポートの内容(20%)、平常点（意欲・態度等）(15%)とし、総合的に評価する。						
評価	成績評価別の到達度					
S	ホテル概論の内容をきわめて高いレベルで理解している。					
A	ホテル概論の内容をかなり高いレベルで理解している。					
B	ホテル概論の内容をほぼ理解している。					
C	ホテル概論の内容を最低限理解している。					